



生細胞への影響が少なく 長時間イメージングに最適な ER 染色試薬

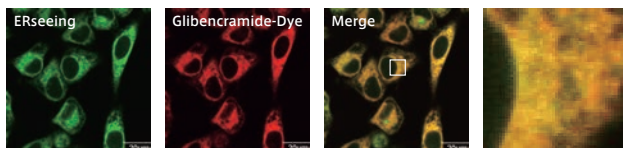
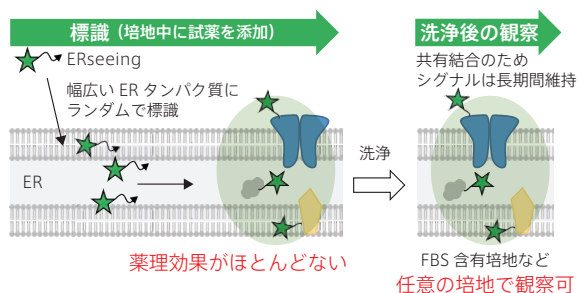
ERseeing

生細胞イメージング用の不可逆的な小胞体 (ER) 染色試薬です。従来の蛍光標識 Glibenclamide 系 ER 染色試薬に比べ、細胞機能への薬理作用が小さく、不可逆のため培地交換後も観察が可能です。

※本製品は京都大学工学研究科 浜地格教授・田村朋則講師の研究成果をもとにフナコシ株式会社が製品化し、販売しています。

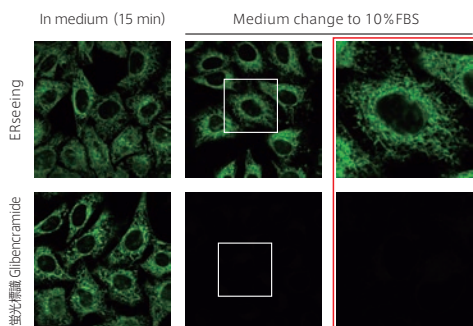
原著論文 Fujisawa A., et al., *J. Am. Chem. Soc.*, **140**, 17060~17070 (2018).

ERseeing の特長



ER 特異性の検証

従来品 (蛍光標識 Glibenclamide) との共染色により本試薬の ER 特異性を評価した。



細胞内滞留性の評価

HeLa 細胞に ERseeing および従来の蛍光標識 Glibenclamide を無血清培地に添加し、15 分間染色後に観察した (左)。その後、10% FBS 含有培地に交換し再度観察した (赤枠)。蛍光標識 Glibenclamide は洗浄後に著しく蛍光シグナルの消失が見られたが、ERseeing は不可逆的に染色するため洗浄後も十分なシグナルが観察された。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
ERseeing <Endoplasmic Reticulum Green>	FNA	FDV-0038	10 nmol / 35,000
測定波長: 励起 509 nm / 蛍光 524 nm			

※本試薬は固定後の細胞の染色には適していません。染色は生細胞で行って下さい。

洗浄除去可能な細胞質染色プローブ CytoSeeing

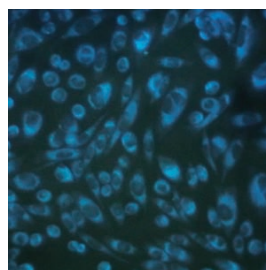
細胞質を迅速に染色する試薬です。また培地交換で容易に除去できるため可逆的に染色ができます。

※本製品は北海道大学大学院 理学研究科の研究成果をもとにフナコシ (株) が製品化し、販売しています。

特長

- 細胞質を染色しますが、細胞核の中には入りません。核の境界を見ることにより形態観察が可能です。
- DAPI フィルターでの検出が可能で、GFP (緑色) や RFP (赤色) の蛍光物質と併用できます。
- 本製品による可視化は細胞機能に影響を及ぼしません。
- 接着細胞、浮遊細胞の両方で使用できます。
- 測定波長: 励起 345 nm / 蛍光 456 nm

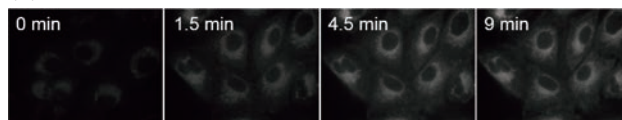
使用例



本製品による CHO 細胞の染色

CytoSeeing (10 μM) で CHO 細胞を 30 分染色した。細胞質全体が染色されており、境界を観察することで核の形態も観察できる。

(a) Addition



(b) Washout



A549 細胞における CytoSeeing の時間依存的な取り込みと分布

- CytoSeeing (10 μM) を細胞に添加し、インキュベートした。9 分で十分に CytoSeeing が細胞内に取り込まれていることがわかる。
- CytoSeeing (10 μM) での細胞染色後、CytoSeeing を含まない培地に交換してインキュベートした。30 分で CytoSeeing が細胞から抜けていることがわかる。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
CytoSeeing <Reversible Cytoplasm Blue>	FNA	FDV-0017	1 mg / 30,000